



施設名

ジャパンワクチン株式会社



第一三共株式会社

VAC1P01606-MQ
作成年月2012年9月

ワクチンで予防できる 病気って？

予防接種スケジュール表

監修：NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会
理事長 菌部 友良



ワクチンで予防できる病気ってなあに？

— VPD: Vaccine Preventable Diseases —

- …生ワクチン
- …不活化ワクチン

● B型肝炎 任意

だれでもかかる可能性がある病気です。ワクチンによる予防が重要です。

● ロタウイルス（ロタウイルス感染症（ロタウイルス胃腸炎）） 任意

5歳までにほとんどの乳幼児が感染し、主な症状は下痢、嘔吐、発熱です。脱水を伴う重症胃腸炎の主な原因で、脳炎・脳症などの合併症もみられます。

● Hib（インフルエンザ菌b型） 任意

5歳未満の乳幼児の感染がほとんどで、細菌性（化膿性）髄膜炎や敗血症などを引き起こします。髄膜炎の初期は風邪と区別がつきにくいです。

● 肺炎球菌 任意

子どもの細菌性（化膿性）髄膜炎や敗血症、肺炎や細菌性中耳炎などを起こします。髄膜炎の初期は風邪と区別がつきにくいです。

● ジフテリア・百日せき・破傷風 定期

ジフテリア：のどに菌がついて息が出来なくなります。

百日せき：大変強い咳き込みが起こります。

破傷風：土の中にいる菌が傷口から感染し、けいれんなどを起こします。

ジフテリア・百日せき・破傷風の予防には、通常は三種混合（DPT）ワクチンを接種します。 定期

● ポリオ（急性灰白髄炎） 定期

小児麻痺と呼ばれる病気で、人から人へ感染します。感染してもほとんどが無症状ですが、症状が出る場合は麻痺を生じます。

ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオの予防には、2012年11月からは四種混合（DPT-IPV）ワクチンを接種します。 定期



● 結核 定期

結核菌が肺や脳を包む髄膜などに炎症を起こします。乳幼児では重くなることが多いです。結核の予防には、BCGワクチンを接種します。

● 麻疹（はしか） 定期

伝染しやすく発熱、せき、発疹が生じ、肺炎や脳炎などの重い合併症が多い病気です。

● 風疹（三日はしか） 定期

軽い風邪の症状から始まり、発熱、発疹、首のリンパ節の腫れを生じます。

麻疹・風疹の予防には、通常は混合ワクチン（MRワクチン）を接種します。 定期

● みずぼうそう（水痘） 任意

水ぶくれが体に出来ます。しかし脳炎、肺炎、皮膚の重い感染症などで毎年死亡者がでている病気です。

● おたふくかぜ（流行性耳下腺炎・ムンプス） 任意

耳の下の唾液腺が腫れますが、全身にも脳炎、重い難聴や無菌性髄膜炎を起こして死亡者もでています。

● 日本脳炎 定期

感染した豚から蚊を通して感染し、高熱、けいれんなどの症状を示す脳炎を引き起こします。

● インフルエンザ 任意

毎年流行して、肺炎や、子どもでは脳炎を起こします。

● HPV（ヒトパピローマウイルス） 任意

子宮頸がんなどの病気を引き起こします。

OPEN

◀ここからはがしてください。